養成講習について (公認スキー指導員/公認スキー準指導員)

公認スキー指導者検定では、受検資格として「養成講習」(基礎理論、指導実習、実技実習) の修了が義務付けられており、指導者として必要な基礎知識を習得することになります。

○養成講習カリキュラムで使用するテキスト一覧

日本スキー教程(2024年10月発刊版)、日本スキー教程安全編(2024年10月発刊版)

受検者ハンドブック (スキー部) (2025年10月本連盟HP掲載版)

規約・規程(510公認スキー指導者規程、522公認スキー指導者検定規程、

523公認スキー指導者検定基準及び実施要領(本連盟HP→ライブラリー内参照)

① スキーの特性に応じた基礎理論 講習時間=15時間 (集合講習:6時間 自主学習:9時間)

講習科目名	講習内容・主要課題	形態・時間	テキスト
指導者に必要な 基礎理論	1 スノースポーツ論2 指導者理論3 指導方法論	集合講習(2時間)	受検者ハンドブック
スキー指導の 安全知識	 7 序論 2 安全な滑走のために 	集合講習(1時間)	日本スキー教程 「安全編」
スノースポーツの 医学	1 スノースポーツ救急法概論2 スノースポーツの外傷・障害	集合講習(1時間)	日本スキー教程 「安全編」
スキー指導の 展開	 Introduction 初歩動作の指導の展開 プルークボーゲンへの指導と展開 ベーシックパラレルターンへの指導の展開 ダイナミックパラレルターンへの指導の展開 	集合講習(2時間)	日本スキー教程
スキー指導と 安全	 1 スキー環境とルール 2 スキー指導におけるリスクアセスメントとPDCAサイクルの活用 3 スキー傷害・予防の観点から見た体力および身体の使い方 4 スキーとフィジカルリテラシー 5 子どもたちへの楽しく安全な指導のために 	自主学習 (2 時間)	日本スキー教程
スキーの歴史と 用語解説	 スキーの歩みと未来に向けて スキー年表 日本スキー教程の歩み スキー用語 	自主学習 (1 時間)	日本スキー教程
指導者に必要な 基礎理論	1 各種検定会の運営について 2 スキー競技の種別及び種目について	自主学習 (1時間)	受検者ハンドブック
資格制度と 検定制度	1 指導に関する制度の種類2 検定制度3 公認スキー指導者検定の内容と評価の観点4 公認スキーバッジテスト検定の内容と評価の観点	自主学習 (2 時間)	受検者ハンドブック
山岳スキー	1 山岳スキー (バックカントリースキー)	自主学習 (1時間)	日本スキー教程 「安全編」
用具・用品の 知識	1 スキー用具と安全	自主学習 (1時間)	日本スキー教程 「安全編」
規約、規程の 理解	 1 510公認スキー指導者規程 2 522公認スキー指導者検定規程 3 523公認スキー指導者検定基準及び実施要領 	自主学習 (1時間)	規約・規程 (SAJホームページ)

② 指導実習 講習時間=6時間 (集合講習:2時間 自主学習:4時間)

実習科目	実習内容・レポート提出課題	形態・時間
指導計画の立案	指導計画案の作成・提出	自主学習(2時間)
指導計画に基づい た指導実習	初心者指導の見学と幇助	集合学習(2時間)
学習評価	指導計画案の評価(自己・他者評価) 学習評価表の作成、提出	自主学習(2時間)

実技実習 講習時間 = 2 2 時間 (集合講習: 2 0 時間 自主学習: 2 時間)

	《時間=22時間 (集合講習:20時間 目王字習:2時間) 	
講習科目	講習内容・主要課題	形態・時間
スキーのための 体力トレーニング	1 スキーのためのストレッチング2 スキーのための筋力トレーニング3 スキーのためのコンディショントレーニング	自主学習 (2時間)
初歩動作の指導の展開	1 ブーツを履いて歩く 2 スキーの着脱 3 片足スキーで移動する 4 両スキーで移動する 5 方向変換 6 平地での起き上がり方 7 ブーツで斜面を歩く 8 斜面でスキーを履く 9 スキーで登行・下降 10 転倒時の注意 11 ウォームアップ (スキーを履かずに) 12 ウォームアップ (スキーを履いて)	集合講習(2時間)
プルークボーゲン への指導の展開	 直滑降 プルークファーレン 直滑降からプルークで停止 プルークファーレンから停止 直滑降から停止 直滑降とプルークファーレンの連続 初歩的なプルークボーゲン プルークボーゲン (速度 制動) 下肢3関節の役割/プルークとパラレル、外向傾姿勢、スキーヤーに働く力 	集合講習 (2時間)
ベーシック パラレルターン への指導の展開	3つの基本動作	集合講習 (6時間)

	ターンの組み立て	
	1 ターン始動のポジショニング①(ターン姿勢の入れかえ)	
	2 ターン始動のポジショニング②(斜度変化と遠心力に合わせる)	
	3 ターン始動のポジショニング③(プルークボーゲン、シュテムターン、横滑り)	
	スキッディングとカービングのコントロール	
	4 スキッディングとカービングの比較	
	5 プルークボーゲン(スキッディングとカービング)	
	6 パラレルターン(スキッディング~カービング)	
	7 ターン姿勢を維持する、ターン中の重心移動とエッジングの角度	
	Ⅲ 横滑り〜パラレルターン	
	8 横滑り	
	9 横滑り~パラレルターン	
	10 パラレルターン小回り	
ダイナミック	Ⅳ シュテムターン~パラレルターン	
パラレルターン	11 シュテムターン	集合講習
	12 シュテムターン~パラレルターン	(10時間)
への指導の展開	V カービングのコントロール	
	13 ターン姿勢の入れかえ 基本動作	
	14 スケーティングステップ	
	15 スケーティング〜パラレルターン	
	16 パラレルターンカービング	
	VI 自在なターンコントロール	
	17 パラレルターン リズム変化	
	18 パラレルターン リズム変化 小回り	
	VII 不整地への対応	
	19 プルークスタンス 基本動作の確認	
	20 パラレルターン スキッディング	
	21 テールジャンプ	
	22 ターン弧のコントロール	
	23 パラレルターン不整地	
	. — -	